

## 箱崎地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

### 記

- 日時 平成 25 年 7 月 20 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分
- 場所 箱崎庵寺
- 次第
  1. 釜石市長 野田武則あいさつ
  2. 箱崎漁港海岸防潮堤について
    - ・ 岩手県では、L1（概ね数十年から数百年程度で起こりうる頻度の高い津波。釜石では、昭和三陸津波や明治三陸津波クラスを指す）対応の防潮堤整備を順次を進めており、現在の防潮堤（TP=5.6m）を残し、背後に TP=14.5m の直立堤（後ろに傾斜で土を盛る計画）を建設予定
    - ・ 陸開は設置せず、乗越道路を設ける
    - ・ 今年度末の工事着工を目指す
  3. 浜のすまいを考える会のふりかえりについて
    - ・ 前回ワークショップの振り返り（土地利用計画、宅地、集会施設について）
  4. 最新の土地利用計画について
    - ・ 浜のすまいを考える会（2/9 開催）、箱崎地区意見交換会（5/12 開催）の意見をもとにした土地利用計画の修正点について
    - ・ 今後のスケジュールについて
  5. 箱崎 - 箱崎白浜間道路について
    - ・ 津波がきても孤立しないように箱崎神社の裏側を通る幅員 7m の道路を計画中
    - ・ 調査、測量、設計を本年 9 月にかけて実施し、平成 27 年度末の工事完成を目指す
  6. 箱崎半島線について
    - ・ 箱崎半島線（延長 2,080m、幅員 9.5m）は現在、根浜部分で工事着工しており、平成 29 年度末の工事完成を目指す
  7. 災害危険区域について
    - ・ 対象区域の設定方法（津波浸水シミュレーションにより浸水が想定された区域）と規制の対象についての説明
    - ・ 災害危険区域の範囲について（箱崎地区は第一種区域に指定）

## 8. 住宅再建支援制度について

- ・現在の自力再建支援制度について
- ・国から追加で分配された基金を活用した、新たな支援制度（釜石市単独被災者住宅再建支援事業補助金、釜石産木材活用住宅推進事業）について

## 9. 意見交換について

いつ個別に土地の買い取りなどの話ができるのか？早く手元にお金が入れば、自力再建しやすくなる。

- 土地利用計画の基本的な方向性を承認して頂けるのであれば、早速、用地等の交渉に入れます。時期としては、先行できるところは7月末くらいからの個別交渉を開始できると考えています。

避難場所が地域にいくつか計画されているが、集会場などの箱ものも欲しい。集会場には避難場所には寝具等の防災備品も備えて欲しい。

排水を処理する青道（河川）が少ないようであるが大丈夫か。

- 避難場所は、1次避難、2次避難や備蓄倉庫などについては、宅地の配置計画が定まった後に具体的な検討に入っていくことになります。  
排水処理は、既存の水路を活かす方向で考えていますが、こちらについても配置計画が承認されれば具体的に検討していくものとご理解ください。

現況水路（排水）は使われているものもあるが、土地利用が変わった際には、切り回しはしっかりと対応してくれるのか？

沢水は大丈夫か？過去に大水が出たことがある。

- 土地利用が確定していない中で、個別具体的方法について本日お示しできませんが、排水処理についてはしっかりと行っていくということでご理解ください。

小学校跡地の山手側のT字路のところは何mの嵩上げになるのか？

- この場所で現況にすりつくような計画で嵩上げはない箇所となります。

防潮堤が絶対にかかる明確な土地については先行して用地交渉に入れないのか？

- 防潮堤については、年度内着工を目指しています。今後、11月位までに用地測量に入り用地が確定した後、12～1月に用地買収交渉に入りたいと考えています。  
用地境界の問題のない土地については、先行して個別に測量に入り、用地買収を早めることは可能です。該当する方は、県の振興局に連絡をお願いしたいと思います。

馬場前地区については、土砂災害危険区域が背後にあるが宅地への危険はないとのことであったが大丈夫か？

- 振興局で現地調査や分析を行ってもらったところ、災害発生の危険性が高い危険区域のレッドゾーンには入らず大丈夫との分析結果でした。